



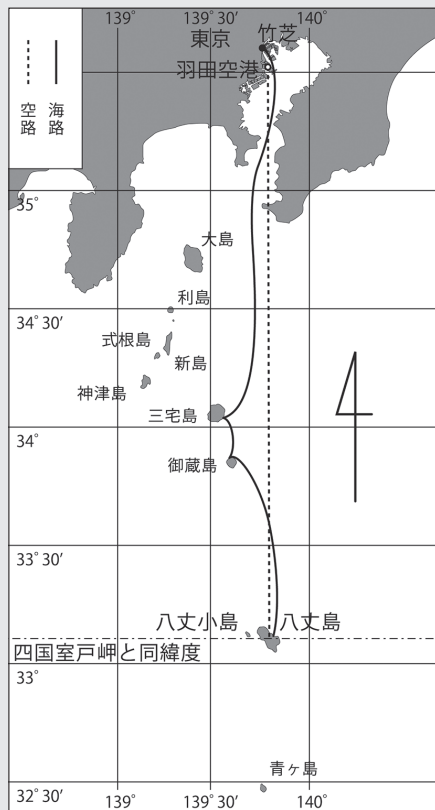
東京都八丈町勢要覧
HACHIJO 2017

はちじょう 2017

資料編



■八丈島の位置



■地勢

地名	区分	面積 (km ²)	周囲 (km)	位置		東京からの 距離 (km)	緯度比較
				北緯	東経		
八丈島		69.11	58.91	33° 03' ~ 33° 09'	139° 44' ~ 139° 52'	287	高知県 室戸岬
八丈小島		3.07	8.70	33° 07'	139° 41'		
計		72.18	67.61	—	—		

※面積：平成28年全国都道府県市区町村別面積調「島面積」（国土地理院）

■気象概況

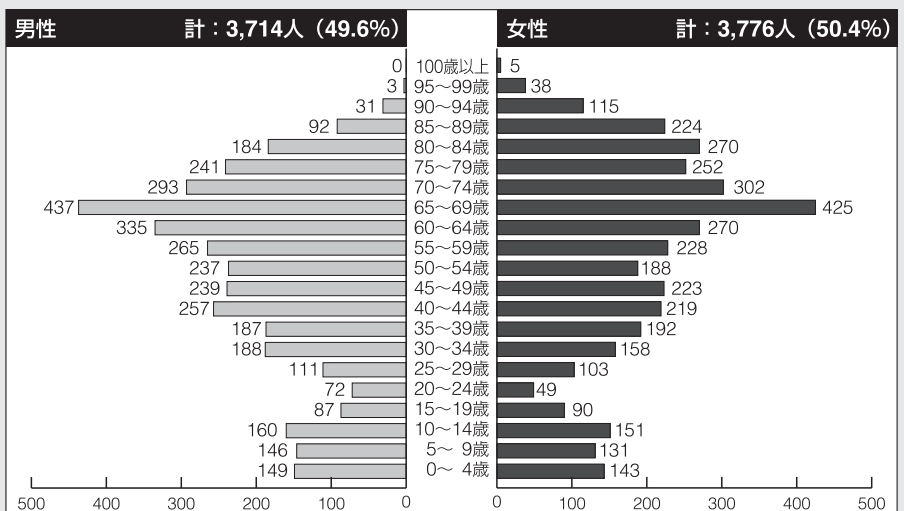
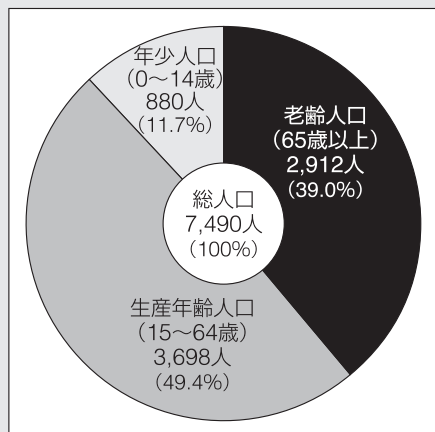
主要気象	八丈島	東京	小笠原・父島	備考
年平均気温（℃）	17.8	16.3	23.2	那覇 23.1
最寒月平均気温（℃）	1月 10.1	1月 6.1	2月 17.9	那覇 17.0
日最高気温の最暖月平均値（℃）	8月 29.3	8月 31.1	7月 30.0	大阪 33.4
日最低気温の最寒月平均値（℃）	1,2月 7.5	1月 2.5	2月 15.3	
年降水量（mm）	3,202.4	1,528.8	1,292.5	屋久島 4477.2 尾鷲 3848.8
年日照時間（時間）	1,398.5	1,881.3	2,038.5	潮岬 2201.2 山形新庄 1320.0
年平均湿度（%）	80	62	77	軽井沢 80
年強風日数（10m/s以上）	134.3	22.1	24.5	室戸岬 253.7
年強風日数（15m/s以上）	22.4	0.4	2.3	室戸岬 108.2

(注) ①1981～2010年の30年間の平均

②八丈島測候所：北緯 33° 06' 東経 139° 47' 標高 79.2m

③年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む。

■年齢別人口構成 (平成29年4月1日)



■地域別世帯数と人口

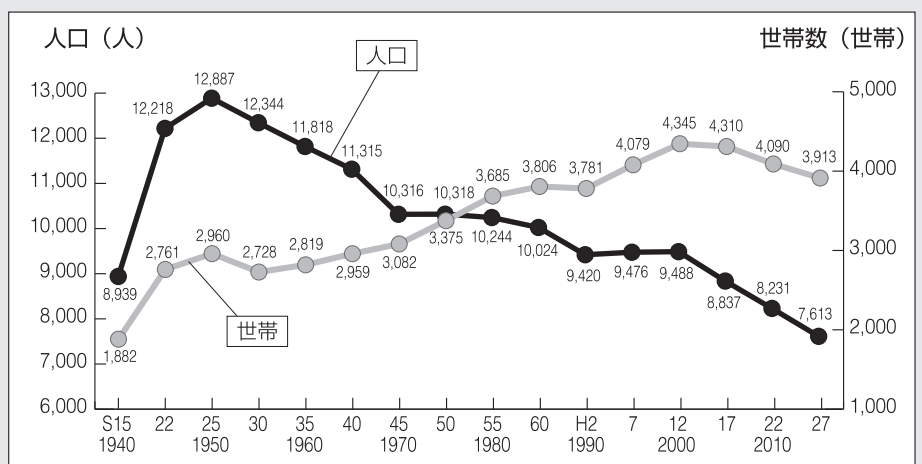
(平成29年3月31日)

地域	世帯数(世帯)	人口(人)
三根	2,039	3,566
大賀郷	1,431	2,464
檜立	280	493
中之郷	369	661
末吉	198	306
計	4,317	7,490

八丈島における
外国人登録者数

101人

■人口・世帯数の推移 (平成27年国勢調査)

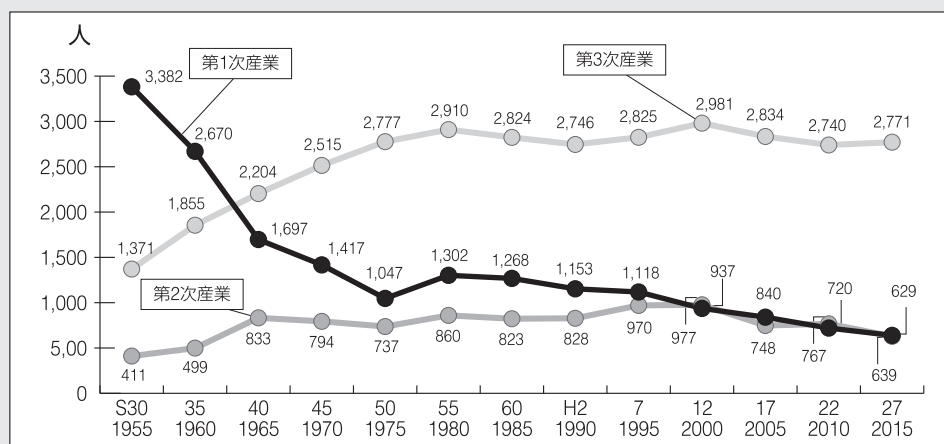


■産業別就業者数（平成27年国勢調査）

就業者数：4,064人 15歳以上人口：6,680人 労働力人口：4,178人

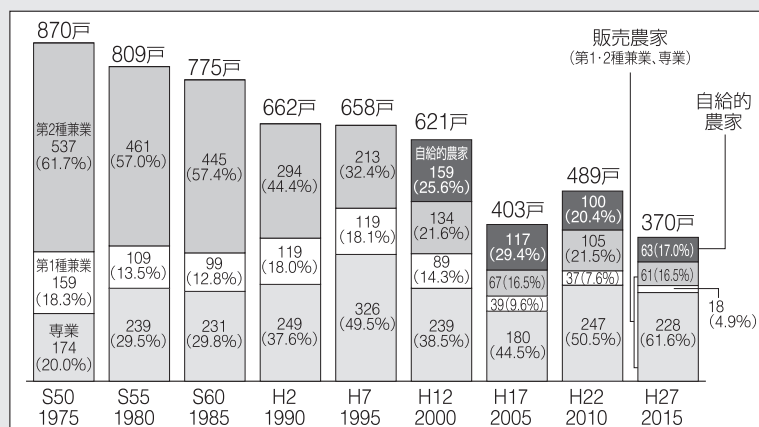
第1次産業 639人 (15.7%)		第2次産業 629人 (15.5%)		第3次産業 2,771人 (68.2%)					
農業 529人 (13.0%)		建設業 476人 (11.7%)		卸売業・小売業 463人 (11.4%)	宿泊業・飲食サービス業 443人 (10.9%)	教育・学習支援業 223人 (5.5%)	医療・福祉 471人 (11.6%)	サービス業 (他に分類されないもの) 269人 (6.6%)	公務 (他に分類されるものを除く) 335人 (8.2%)
漁業 103人 (2.5%)		林業 7人 (0.2%)	製造業 153人 (3.8%)	運輸業・郵便業 160人 (3.9%)	生活関連サービス業・娯楽業 128人 (3.1%)	学術研究・専門・技術サービス業 62人 (1.5%)	不動産業・物品賃貸業 40人 (1.0%)	複合サービス業 102人 (2.5%)	
電気・ガス・熱供給・水道業 25人 (0.6%)			情報通信業 25人 (0.6%)		金融業・保険業 25人 (0.6%)				分類不能の産業 25人 (0.6%)

■産業別就業者の推移（平成27年国勢調査）



農業 AGRICULTURE

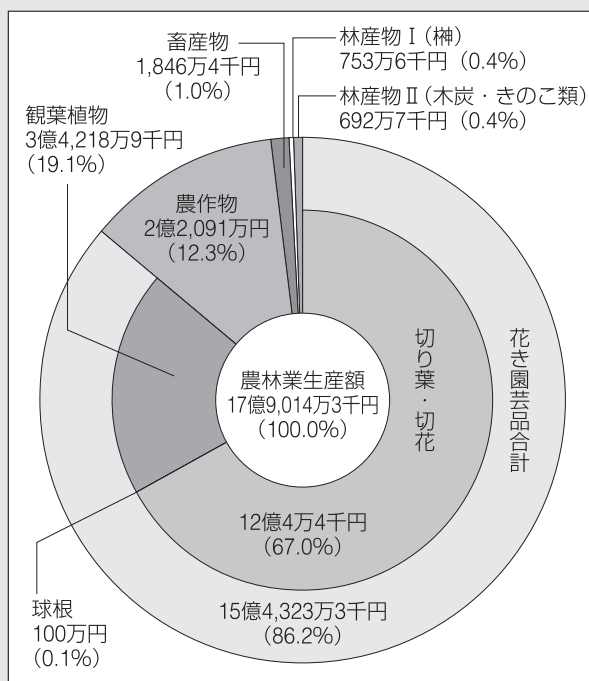
■農家数の推移（農林業センサス）



■経営耕地・作物別作付面積（平成28年1月1日）

フェニックス・ロベリニー	205ha	59.1%	花き園芸 71.8%
ストレチア	9ha	2.6%	
球根類	1ha	0.3%	
その他の花き	34ha	9.8%	
あしたば	37ha	10.6%	その他農作物 28.1%
野菜・イモ	45ha	12.9%	
飼料作物	16ha	4.6%	
計	347ha	100%	100%

■農林業生産額（平成28年1月～12月）

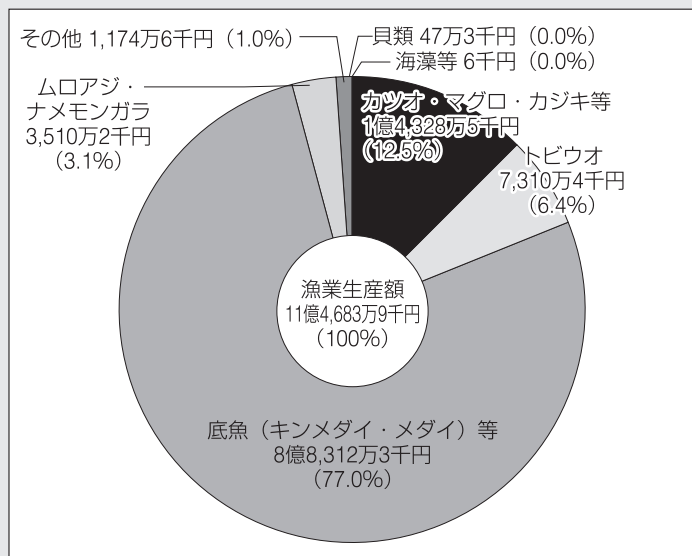


漁業 FISHERY

■種類別漁獲高 (平成28年 1月～12月)

	漁獲量	金額	平均単価	金額比率
トビウオ (流刺網・流まき網)	191,543kg	7,310万4千円	382円	6.4%
ムロアジ・ ナメモンガラ (棒受網)	121,647kg	3,510万2千円	289円	3.1%
カツオ マグロ カジキ等 (曳縄)	177,374kg	1億4,328万5千円	808円	12.5%
底魚等 (一本釣り)	611,591kg	8億8,312万3千円	1,320円	77.0%
テングサ等 (潜水)	20kg	6千円	300円	0.0%
トコブシ等 (潜水)	110kg	47万3千円	4,300円	0.0%
その他	7,303kg	1,174万6千円	1,608	1.0%
合 計	1,109,588kg	11億4,683万9千円	1,034円	100%

■漁業生産額 (平成28年 1月～12月)



■漁港の状況 (平成29年 4月 1日)

区分 漁港名	種別	指定日 管理者	対象 船舶	漁 港 施 設
神湊漁港	第4種	昭26.7.10 東京都	20t	防波堤 613m 照明施設一式 岸壁 1,000m 船揚場 4,284㎡
八重根漁港	第4種	昭26.7.10 東京都	20t	防波堤 685m 照明施設一式 岸壁 752m 船揚場 4,455㎡
中之郷漁港	第1種	昭27.6.23 東京都	20t	防波堤 251m 照明施設一式 岸壁 105m 船揚場 3,748㎡
洞輪沢漁港	第1種	昭27.6.23 東京都	20t	防波堤 577m 照明施設一式 岸壁 229m 船揚場 3,315㎡

■魚種別漁獲量順位 (平成28年 1月～12月)

順 位	種 名	漁獲量 (kg)
1	キンメダイ	473,111
2	トビウオ類	191,542
3	ムロアジ	119,150
4	カツオ類	100,878
5	メダイ	87,544
6	マグロ類	57,544
7	カジキ類	13,433
8	ハマダイ	13,224
9	アオダイ	9,664
10	チビキ	7,415

■漁船数 (平成28年12月31日)

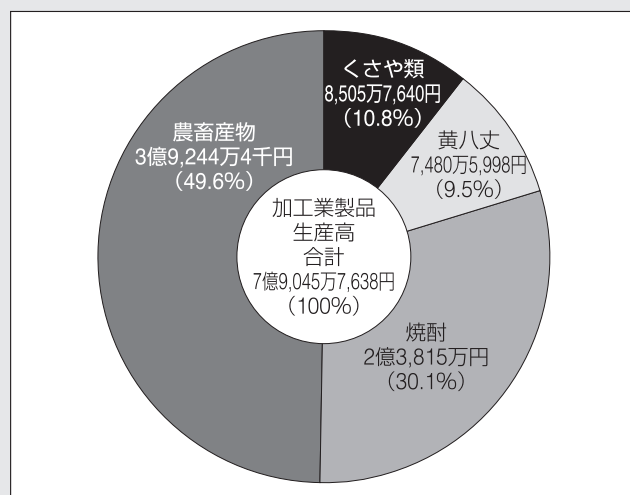
3トン未満	48隻
3トン～10トン未満	75隻
10トン～20トン未満	15隻
20トン以上	0隻
合 計	138隻

※官公庁船を除く

商業

COMMERCE &
MANUFACTURING INDUSTRY

■加工業製品生産調べ (平成28年 1月～12月)



観光 SIGHTSEEING

■主な行事（平成28年）

パブリックロードレース……………1月
 フリージアまつり……………3月～4月
 夏まつり……………7月
 浜遊び……………8月
 納涼花火大会……………8月
 タコスカップ（サーフィン大会）……8月
 RAINBOW CUP2016（フットサル大会）……9月
 ユニバーサルキャンプ……………9月
 24時間チャレンジ八丈太鼓……………10月
 夢伝（ウォーキング・マラソン大会）…11月

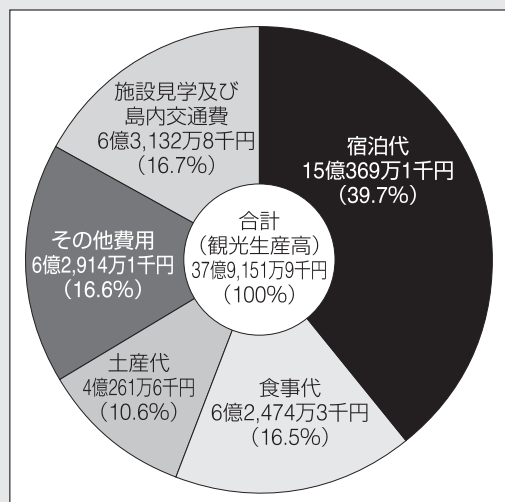
■宿泊施設（平成29年1月）

（休業中は含まず）

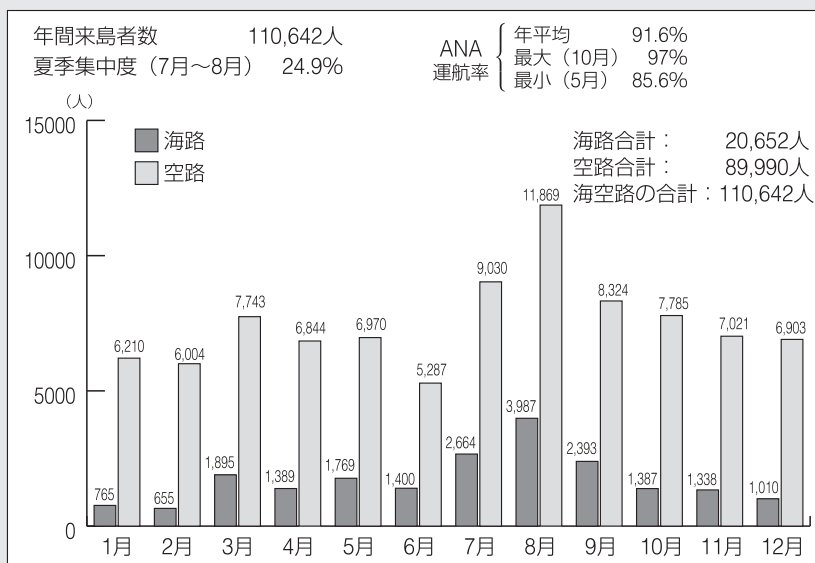
区分 地域	ホテル・旅館		民宿・ペンション		合計		キャンプ場	
	軒数	登録定員	軒数	登録定員	軒数	登録定員	箇所	張数
三根	3	345	27	699	30	1,044	1	80
大賀郷	1	220	31	669	32	889	0	0
檜立	0	0	1	5	1	5	0	0
中之郷	0	0	3	97	3	97	0	0
末吉	0	0	4	67	4	67	0	0
計	4	565	66	1,537	70	2,102	1	80

ホテル 1泊2食付	12,000円くらいから	旅館 1泊2食付	8,000円くらいから
ペンション 1泊2食付	9,000円くらいから	民宿 1泊2食付	8,000円くらいから

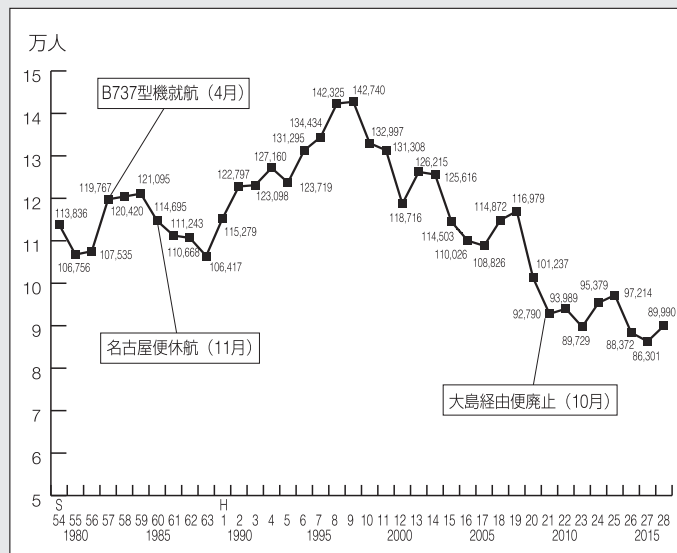
■観光客消費額推計（平成28年1月～12月）



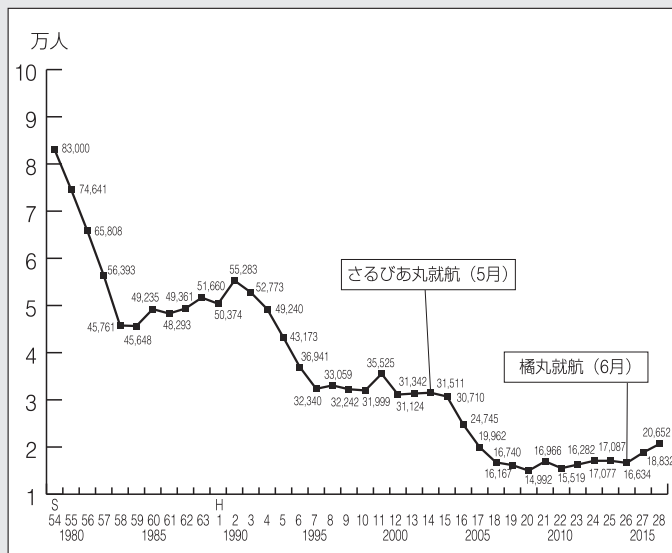
■航路別来島者数の月別推移（平成28年1月～12月）



■空路便来島者数の推移



■船便来島者数の推移



保健 HEALTH

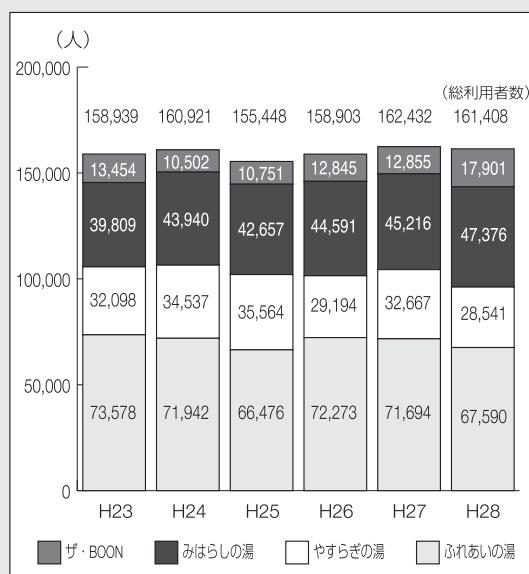
■医療機関などの施設状況 (平成29年 4月 1日)

町立病院	1箇所
保健所	1箇所
診療所	2箇所
歯科診療所	7箇所
施術所 ・あんまマッサージ ・指圧師 ・はり師 ・柔道整復師	7箇所
薬局	3箇所
薬種商	0箇所
医薬品特例販売店	9箇所
歯科技工所	1箇所

■集団検診数 (平成28年度)

胃がん検診 (バリウム胃部X線)	402人
肺がん検診 (胸部X線)	856人
肺がん検診 (かくたん)	45人
大腸がん検診 (検便)	502人
乳がん検診 (マンモグラフィ・視触診)	181人
子宮頸がん健診 (内診・細胞診)	198人
特定健康、健康診査 (長寿・住民)	923人
骨粗鬆症 (こつそしょうしょう) 検診	437人
計	3,544人

■温泉利用者数 (平成28年度)



※やすらぎの湯 平成23年7カ月休業、平成24年7カ月休業

福祉 WELFARE

■高齢人口 (平成29年 4月 1日)

65歳以上	2,912人
-------	--------

	八丈島 (H29.9.15)	東京 (H29.9.15)	全国 (H29.9.15)
高齢人口 比率	38.88%	23.3%	27.7%

■高齢者祝金の状況 (平成28年度)

	人数	金 額
90歳祝金	43人	86万円
100歳祝金	0人	0円

■介護保険 要介護認定者数 (平成29年 4月 1日)

要介護度	人 数
要 支 援 1	126人
要 支 援 2	53人
要 介 護 1	88人
要 介 護 2	75人
要 介 護 3	76人
要 介 護 4	84人
要 介 護 5	71人
合 計	573人

■社会福祉協議会の状況 (平成29年 4月 1日)

会 員 数		2,216件
事 業 予 算		1億3,142万円
内 訳	法人運営事業	2,868万円
	地域福祉事業	2,127万円
	受託事業	1,576万円
	居宅介護事業	6,470万円
	応急小口資金特別会計	100万円
	歳末たすけあい特別会計	1万円

■保育園状況 (平成29年 4月 1日)

施 設 数	4箇所
定 員	431人
実 員	232人
措 置 率	53.83%
職 員 数	31人（保育士 25人・調理員 6人）
事 業 費	2億4,839万8,472円
	国費 25万円
	都費 4,870万9,000円
	町費 1億5,344万2,292円
	住民負担 4,153万8,280円
	その他 445万8,900円

■児童手当支給状況 (平成28年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数 (のべ人数)	8,109人	1,899人
支給金額	9,095万円	2,584万4,500円

■生活保護扶助別実施状況 (平成28年度)

世帯数	193世帯	区別	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計
人員	231人	金額	1億1,945万3千円	3,964万3千円	113万6千円	937万2千円	1億9,048万1千円	45万1千円	84万6千円	0円	3億6,138万2千円

■障害者手帳交付状況

(障害の重複あり) (平成29年 3月31日)

障 害 区 分	人数
視 覚	24人
聴 覚	12人
肢 体	166人
平 衡	1人
言 語	8人
そ し ゃ く	1人
内 部 障 害	91人
計	303人

■愛の手帳交付状況

(平成29年 3月31日)

18 歳 未 満	6人
18 歳 以 上	48人
計	54人

■精神障害者保健福祉手帳交付状況

(平成29年 3月31日)

交 付 数	68人
-------	-----

■老人クラブの状況

(平成29年 4月 1日)

ク ラ ブ 数	20クラブ
会 員 数 (人)	1,095人
クラブ助成金額	610万4千円

■国民年金加入状況

(平成29年 4月 1日)

被 保 険 者 数	1,561人
第 1 号被保険者数	1,178人
第 3 号被保険者数	364人
任意加入被保険者数	19人

■国保保険給付費支払状況

(平成28年度)

高額療養費	一般被保険者分	8,681万1,404円
	退職者被保険者分	124万6,929円
出産育児給付	件数	18件
	金額	729万7,150円
葬祭費	件数	25件
	金額	125万円

■後期高齢者医療被保険者証交付状況

(平成29年 4月 1日)

後期高齢者医療被保険者数	1,407人
--------------	--------

■国民年金受給権者数

(平成29年 4月 1日)

老 齢 基 礎 年 金	2,456人
老 齢 年 金 (旧)	181人
通 算 老 齢 年 金 (旧)	26人
障 害 基 礎 年 金	126人
遺 族 基 礎 年 金	6人
障 害 年 金 (旧)	6人
寡 婦 年 金	0人

福祉年金の受給権者数	0人
------------	----

特 別 障 害 給 付 金	1人
---------------	----

■国保加入者数と平均保険税額

(平成29年 4月 1日)

加入者数		平均保険税収額 (医療分)	
世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	一世帯あたり	一人あたり
1,987	3,066	74,940円	47,810円

医療 MEDICAL

■町立八丈病院のべ患者数 (平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

単位: 人

区分	総数	一 般 診 療					臨 時 診 療												
		内科	外科	産婦人科	小児科	計	整形外科	皮膚科	精神神経科	神経内科	耳鼻咽喉科	内分泌内科	循環器内科	泌尿器科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器内科	眼科	計
入院	9,414	7,090	1,816	444	64	9,414													
外来	47,101	19,120	7,463	1,736	7,723	36,042	1,058	1,167	2,339	176	907	343	34	314	1576	332	123	2,690	11,059

■後期高齢者医療給付の状況 (平成28年度)

区 分	受診件数	費 用 額	保険者負担分	一部負担金
療養の給付等 (A)	25,724件	9億5,713万6,812円	8億8,399万1,719円	7,314万5,093円
内 訳	入 院	903件	4億6,600万6,240円	
	入 院 外	11,273件	1億9,943万2,760円	
	歯 科	3,973件	4,587万8,200円	
	調 剤	9,575件	2億2,441万8,330円	
	食事療養	804件	2,140万1,282円	
訪 問 看 護	0件	0円		
療 養 費 等 (B)	590件	668万637円	593万259円	75万378円
合 計 (A + B)	26,314件	9億6,381万7,449円	8億8,992万1,978円	7,389万5,471円

■国保医療給付の状況 (一般被保険者分) (平成28年度)

区 分	受診件数	受診日数	費 用 額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等 (A)	36,843件	45,606日	8億7,764万3,208円	6億4,116万6,161円	2億2,635万1,614円	3,511万7,311円
内 訳	入 院	638件	8,294日	3億1,834万6,250円		
	入 院 外	15,595件	24,081日	2億4,966万3,390円		
	歯 科	8,474件	13,231日	7,470万620円		
	調 剤	12,136件	[15,019] 枚	2億2,080万6,560円		
	食事療養	[580] 件	[21,173] 回	1,412万6,388円		
訪 問 看 護	0件	0日	0円			
療 養 費 等 (B)	1,205件		907万3,516円	652万1,130円	245万1,068円	10万1,318円
合 計 (A + B)	38,048件		8億8,671万6,724円	6億4,768万7,291円	2億2,880万2,682円	3,521万8,629円

■国保医療給付の状況 (退職被保険者分) (平成28年度)

区 分	受診件数	受診日数	費 用 額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等 (A)	455件	536日	1,437万7,466円	1,005万1,721円	427万6,805円	4万8,940円
内 訳	入 院	4件	842万4,640円			
	入 院 外	192件	290万7,570円			
	歯 科	104件	124万4,370円			
	調 剤	155件	[177] 枚	172万5,570円		
	食事療養	[3] 件	[115] 回	7万5,316円		
訪 問 看 護	0件	0日	0円			
療 養 費 等 (B)	14件		7万1,119円	4万9,781円	2万1,338円	0円
合 計 (A + B)	469件		1,444万8,585円	1,010万1,502円	429万8,143円	4万8,940円

■環境衛生施設数（平成29年 4月 1日）

区 分	許可等件数
総 数	262件
理 容 所	13件
美 容 所	14件
ク リ ー ニ ン グ 所	5件
公 衆 浴 場	8件
ホ テ ル・旅 館・民 宿 等	88件
興 行 場	2件
プ ー ル（学 校 プ ー ル 含 む）	14件
水 道 施 設	16件
小 規 模 貯 水 槽 水 道 等	35件
温 泉 利 用 施 設	10件
墓 地 な ど	50件
特 定 建 築 物	7件

■火葬・改葬（平成28年度）

火 葬	130件
改 葬	10件
計	140件

■水道事業（平成28年度）

	坂上下水道	坂上簡易水道	全 体
給水人口	6,030人	1,426人	7,456人
普及率	100%	97.7%	99.5%

水源取水能力	表 流 水	2,030m ³ /日	0m ³ /日	2,030m ³ /日
	地 下 水	4,230m ³ /日	0m ³ /日	4,230m ³ /日
	湧 水	1,760m ³ /日	2,150m ³ /日	3,910m ³ /日
	計	8,020m ³ /日	2,150m ³ /日	10,170m ³ /日

有 収 水 量	年間有収水量	948,186m ³	228,345m ³	1,176,531m ³
	月平均有収水量	79,016m ³	19,029m ³	98,045m ³
	1日平均有収水量	2,598m ³	626m ³	3,224m ³
	1日1人当たり	419ℓ	423ℓ	420ℓ

給 水 収 益	年間給水収益	2億701万5,465円	4,992万8,695円	2億5,694万4,160円
	月平均給水収益	1,725万1,289円	416万725円	2,141万2,014円
	1人月平均給水収益	2,782円	2,814円	2,789円
	給 水 栓 数	4,871栓	1,278栓	6,149栓

■ごみ処理取扱量（平成28年度）

施 設	機械バッチ燃烧式焼却炉
処 理 能 力	17.00トン（8時間運転×2炉）／1日
焼却処理総量	3,013.96トン

区 分	町処理収集量	持ち込み処理量
燃やせるごみ	2,029.12トン	984.84トン
空 き 缶	39.96トン	0.31トン
空 き ビ ン	75.28トン	21.03トン
金 属 ご み	43.47トン	40.62トン
有 害 ご み	2.39トン	1.08トン
発泡スチロール	0トン	0トン
小 計	2,190.22トン	1,047.88トン

総 処 理 量	3,238.10トン
---------	------------

■家庭用生ゴミ堆肥化容器貸与実績

（平成28年度）

130ℓ	15件
230ℓ	60件
計	75件

■し尿・浄化槽汚泥収集運搬量（平成28年度）

総 量		10,591,410ℓ
	し尿汚泥	5,315,610ℓ
	浄化槽汚泥	5,275,800ℓ
し 尿 汚 泥 収 集 件 数		1,797件
浄 化 槽 汚 泥 収 集 件 数		1,132件

■水道料金（平成29年 4月 1日）

口径	装置料金	水 道 料 金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13mm	380円	1～10m ³	11～20m ³	21～50m ³	51m ³ 以上
20mm	450円				
25mm	460円	110円/m ³	145円/m ³	230円/m ³	275円/m ³
30mm	550円	1～50m ³	51～100m ³	101～500m ³	501m ³ 以上
40mm	590円				
50mm	1,530円	335円/m ³	375円/m ³	390円/m ³	400円/m ³
65mm	1,660円	1～100m ³	101～500m ³	501～5,000m ³	5,001m ³ 以上
75mm	1,900円				
100mm	2,270円	390円/m ³	400円/m ³	415円/m ³	435円/m ³
工事ならびに臨時用	5,800円	480円/m ³			

■小・中学校の状況（平成29年 5 月 1 日）

小学校 3校	児童数：351人
	学級数：20学級
	教員数：41人
中学校 3校	児童数：184人
	学級数：10学級
	教員数：43人

■高等学校の状況（平成29年 5 月 1 日）

生徒数	全日制	125人
	定時制	14人
教員・職員数		59人
卒業者数		58人 (全日制58人・定時制0人)
卒業後の進路		全日制 定時制 割合
大学短大進学者	25人	25人 0人 43%
専門学校等	10人	10人 0人 17%
就職進学	0人	0人 0人 0%
就職	21人	21人 0人 36%
その他	2人	2人 0人 4%
計	58人	58人 0人 100%

■共同調理場方式完全給食（平成28年度）

給食数 (1日)	給食 予定日数	給食費用単価（1食あたり）			
		小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
657食	194日 (うち米飯週3回)	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円
		平均月額給食費（11カ月）			
		小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
		4,093円	4,649円	4,929円	5,727円

■学校給食の状況（平成28年 4 月）

小学校	3校	児童数	349名
中学校	3校	児童数	184名
計	6校	計	533名
教 職 員 ほ か			105名
給 食 人 員 計			638名

■英会話教室（平成28年度）

21クラス	138人
-------	------

■婦人会状況（平成29年 4 月 1 日）

	総数	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉
婦人会員数	488人	268人	81人	44人	65人	30人

■学校施設の現況（平成29年 5 月 1 日）

学校名	構造	面積 ㎡	教室数		校地面積／㎡		付属建物／㎡
			普通	特別	建物 敷地	運動場	
三 根 小学校	RC3階建	3,980	9	13	6,946	9,102 (芝生5,900含む)	体育館RC=1,088 倉庫S=22
大賀郷 小学校	RC3階建	2,645	7	10	5,553	5,798 (芝生2,771含む)	体育館RC=790 電気室S=19、W6 倉庫CB=20、S=22 地域・学校連携施設RC=148
三 原 小学校	RC2階建	2,179	6	9	3,539	2,436 (芝生2,436含む)	体育館RC=695 倉庫S=22
小学校 計	—	8,804	22	32	16,038	17,336	体育館RC=3,223 倉庫CB=58 地域・学校連携施設RC=306
富 士 中学校	RC2階建 CB	2,220 6	3	13	6,474	17,378 (芝生848含む)	体育館RC=743 倉庫CB=40、S=9
大賀郷 中学校	RC2階建 RC平屋	2,008 63	5	8	9,942	6,800	体育館RC=848 倉庫CB=60 地域・学校連携施設RC=150
三 原 中学校	RC2階建	2,239	3	10	6,135	8,739 (芝生2,731含む)	体育館RC=800 倉庫S=116
中学校 計	—	6,536	11	31	22,551	32,917	体育館RC=2,391 倉庫CB=100 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=150
小中学校 計	—	15,340	33	63	38,589	50,253	体育館RC=5,614 倉庫CB=158 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=456

(RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨、W=木造)

■図書館利用状況（平成28年度）

開館日数			277日
利用者数	総数		16,243人
	内訳	一般	11,706人
		児童	4,537人
1日平均利用者数			59人
蔵書数			30,746冊
視聴覚ライブラリー		ビデオ保有数	30巻
		DVD保有数	1,037枚

■指定文化財等件数（平成29年 4 月 1 日）

	国 指定分	国 登録分	国 選択分	都 指定分	町 指定分	計
天 然 記 念 物	1	0	0	0	7	8
有 形 文 化 財	0	1	0	18	40	59
無 形 文 化 財	0	0	2	0	0	2
無形民俗文化財	0	0	1	3	0	4
史 跡・旧 跡	0	0	0	6	2	8
計	1	1	3	27	49	81

管内に存在する地域を 定めないで指定されている 国天然記念物	アカコッコ カラスバト イイジマムシクイ カンムリウミスズメ オカヤドカリ
--------------------------------------	---

公民館施設状況（平成29年 4 月 1 日）

公 民 館 名	地番	完成年度	延床面積	概 要
三 根	347－1	平成30年度	——	建築中
大 賀 郷	3060	昭和59年度	746㎡	集会室：253㎡／厨房：60㎡／図書室：30㎡／会議室（和）：75㎡／その他：328㎡
檜 立	2027	昭和50年度	590㎡	集会室：198㎡／厨房：22㎡／図書室：22㎡／会議室（和）：99㎡／その他：249㎡
中 之 郷	2613	昭和48年度	564㎡	集会室：201㎡／厨房：24㎡／図書室：24㎡／会議室（和）：94㎡／その他：221㎡
末 吉	633	昭和53年度	614㎡	集会室：242㎡／厨房：26㎡／図書室：20㎡／会議室（和）：97㎡／その他：229㎡

体育施設状況（平成29年 4 月 1 日）

施 設 名	完成年度	面 積	構 造	概 要
富士グラウンド （富士野球場）	昭和63年度（平成24年度改修）	12,521㎡	内野：混合土 外野：ロングパイル人工芝 外周：砂	バックネット ：H＝10m L＝32m ファウルボール ：H＝10m ダッグアウト ：鉄骨造 投球練習場 ：1塁側・3塁側各2組 スコアボード ：メインスタンド 防球ネット ：1塁側 H10m、 3塁側・ライト側 H7m
富士ゲートボール場	平成 2 年度	4,483㎡	透水型砂入り人工芝	コート：15.0m×20.0m 3面 休憩所：平屋鉄筋コンクリート造 49.5㎡ 駐車場：アスファルト舗装 469.7㎡
ボウリング場	昭和46年度（平成16年度町へ移管）	347㎡		4レーン
体 育 館	昭和46年度（平成16年度町へ移管）	599㎡	砂入り人工芝	コート425㎡
テニスコート	平成 7 年度（平成16年度町へ移管）	1,368㎡	砂入り人工芝	コート2面
檜立屋内運動場	平成 3 年度（平成19年度所管替）	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
檜立運動場	（平成19年度所管替）	4,450㎡	クレー	
中之郷屋内運動場	昭和62年度（平成19年度所管替）	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
中之郷運動場	（平成19年度所管替）	5,557㎡	クレー	
末吉屋内運動場	平成 4 年度（平成25年度所管替）	650㎡	体育館	鉄筋コンクリート
末吉運動場	（平成25年度所管替）	4,425㎡	クレー	

スポーツ・文化活動の状況（平成28年度）

スポーツ

区 分	活動状況
野 球	一般軟式リーグ 224人（10チーム）：OB（春・秋大会開催）・早朝（リーグ戦開催） 少年 57人 少年学童・二部（春・秋大会開催）
バレーボール	一般 163人（8チーム）：春・秋・冬リーグ戦開催 児童 66人（3チーム）
サ ッ カ ー	一般・児童 230人 （夏・秋・冬リーグ戦、島外チームとの交流大会、ジュニアユース大会等）
バスケットボール	一般 37人（4チーム）：春・秋リーグ戦開催 児童 54人（2チーム）
卓 球	一般 75人：浅葉杯等各種大会開催 児童 16人
武 道	柔道 60人：武道大会等開催 昇給審査会開催 剣道 65人
テ ニ ス	硬式 42人：各種大会開催
マ ラ ソ ン	第36回 パブリックロードレース 参加者：621人 第39回 八丈島駅伝大会 参加：159人（27チーム）
町民体育大会	島内5地域で実施
ゲートボール	島内各地域愛好者 115人

文化活動

八 丈 島 サマーコンサート		團伊玖磨記念コンサート 出演者：牟田久壽（プロデューサー）、宮西一弘（テノール）、斉藤真歩（ソプラノ）、福田久美（ピアノ）
八 丈 島 文 化 協 会 事 業	八 丈 島 島 民 大 学 講 座	講演「自然界に学ぶ表面機能の不思議」…… 諸貫信行（首都大学東京教授） 講演「郷土史に親しむ ～地方史の読み方」……谷口央（首都大学東京教授） 講演「僕たちは島で、未来を見ることにした」……阿部裕志（鐵巡の環 代表取締役）
	子ども文化体験 （旧八丈島おこ劇場）	子どものための舞台鑑賞「ジン・マサフスキーのサイレントコメディーマジック」 子ども招待公演「狂言ミュージカル入間川」 映画鑑賞会、芸術文化体験ワークショップ 他
	八 丈 島 文 化 フェスティバル	島内文化団体による舞台公演及び展示会……出演団体：15団体 他展示部門あり
	八 丈 島 芸 能 文 化 祭	島内伝統芸能団体と文化団体とのコラボ公演 出演……八丈太鼓月曜会、よされ会、檜立踊り保存会、加茂川会、中之郷盆踊り実行委員会、フラメンコサークル、コウリマナニエ
	八 丈 島 JAZZ フェスティバル	島内外の子ども達を中心としたJAZZ公演 島内出演……八丈高校吹奏楽部、富士中学校吹奏楽部、大賀郷中学校音楽部、三原中学校音楽部、小学生及び社会人有志 島外ゲスト……開成ジュニアアンサンブル「ブルーバース」（小学生ビッグバンド／神奈川県） スペシャルゲスト……福井ともみ（Pf,Arr）、高瀬龍一（Tp）、宮崎達也（Sax）
婦 人 学 級		太鼓教室、料理教室、着付教室、草木寄せ植え教室、ゲートボール教室等

八丈島歴史民俗資料館（平成28年度）

昭和50年5月に開館、館内には流人文化を中心とした資料が数多く展示され、八丈の人々や流人の生活を雄弁に物語ってくれる資料、昔使われた生活用具や農耕具、漁具、機織具などのほか、先史時代の石器、古文書、伊万里、瀬戸などの陶器類、羅漢像、八丈の伝説をしのばせてくれる為朝の鎧など展示品は約1,500点にのぼります。

開 館	1975年5月1日 （昭和50年）	展 示 品	考古関係	約345点	展示品 総数	約1,500点
			民俗関係	約1,000点		
			歴史関係	約50点		
			その他	105点		
入館者数	14,228人					

八丈島地熱館（平成28年度）

開 館	2013年8月31日 （平成25年）
入館者数	10,439人

■町営バス運行実績

(平成28年度)

走行距離	一般乗合	136,908km	81.9%
	貸切	30,161km	18.1%
	総数	167,069km	100%
輸送人員	一般乗合	89,246人	79.4%
	貸切	23,144人	20.6%
	総数	112,390人	100%
収入金額	一般乗合	1,454万8,673円	26.0%
	貸切	4,147万9,910円	74.0%
	総数	5,602万8,583円	100%

■車両台数 (平成29年度)

種 類	乗車定員	台 数
大型バス	52人乗り	1台
	49人乗り	1台
	49人乗り	1台
中型バス	59人乗り	1台
	58人乗り	1台
	53人乗り	1台
	42人乗り	1台
	36人乗り	1台
小型バス	35人乗り	1台
	31人乗り	1台
バス車両台数合計		10台
路 線 数		9系

■観光バス貸切料金 (平成29年度)

	大型バス (34名以上)	中型バス (21～33名)	中型割引 (1～20名)
1 周 コース	101,952円	90,720円	78,732円
半 周 コース	65,664円	58,320円	50,544円
送 迎	27,475円	23,760円	23,760円

■八丈島内郵便局の状況 (平成28年 4月 1日)

集 配 局	三根、中ノ郷	2局
無 集 配 局	八丈島、樫立、末吉	3局
簡 易 局	三根川向	1局

■自動車台数 (平成29年 4月 1日)

自動車台数8,439台／人口7,490人		自動車台数8,439台／世帯数4,317世帯	
1.13台／住民1人あたり		1.95台／1世帯あたり	
車 種	台 数	管 轄	
普通車・その他	2,778台	自動車検査登録情報協会	
軽 自 動 車	4,851台	八丈町	
二 輪 車	101台	八丈町(軽二輪)	
	83台	自動車検査登録情報協会(小型二輪)	
原 付 自 転 車	626台	八丈町	
計	8,439台		

■航空貨物取り扱い高

(平成28年 1月～12月)

移 出	756トン	移 入	272トン
-----	-------	-----	-------

■タクシー台数

(平成29年11月 1日現在)

タクシー業者数	12業者	26台
(うち1台で営業している業者)	8業者	
ジャンボタクシー使用業者	4業者	4台
福祉タクシー使用業者	2業者	1台

■トラック台数

(平成29年 4月 1日)

総 業 者 数	12業者
トラック台数	54台

※青ヶ島の1業者、12台を含まない

■テレビ放送

NHK三原山サテライト局	昭和40年12月26日開局
民 放 テ レ ビ 放 送	昭和45年11月12日開局
テ レ ビ 東 京 放 送	昭和58年11月29日開局
東京メトロポリタンテレビジョン	平成7年11月1日開局
八丈デジタル中継局	平成21年3月3日開局
末吉デジタル中継局	平成22年11月1日開局
洞輪沢デジタル中継局	平成22年11月1日開局

■海上貨物取り扱い高

(平成28年 1月～12月)

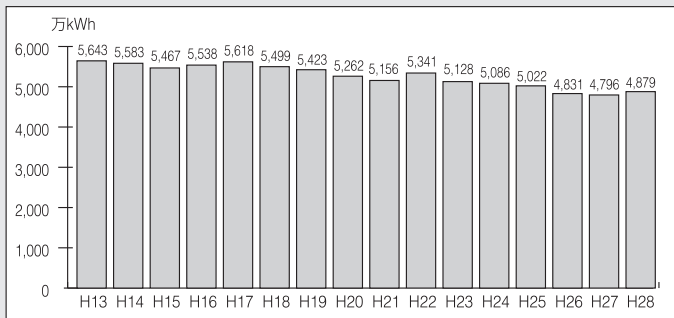
分 類	品 名	移出 (t)	移入 (t)
農 水 産 品	米・雑穀・豆	0	251
	野 菜 ・ 果 物	8	2,313
	そ の 他 農 産 品	3,675	82
	畜 産 品	139	3,211
	水 産 品	2,735	3,215
林 産 品	林 産 物	1,975	3,847
	砂 利 ・ 砂	0	59,866
鉱 産 物	石 材	0	1,972
	石 灰 石	0	0
	その他非金属鉱物	0	0
金属機械工業品	完 成 自 動 車	1,035	4,246
	鋼 材 ・ 鉄 鋼	1	0
	金 属 製 品	859	5,860
	産 業 機 械	0	0
	その他機械・部品	10	13
化学工業品	セ メ ン ト	2	7,221
	LPG(液化石油ガス)	0	3,180
	そ の 他 窯 業 品	0	1,793
	重 油	808	0
	石 油 製 品	832	5,908
	化 学 肥 料	1	0
軽 工 業 品	塗料・その他化学工業品	1	1
	飲 料	85	2,137
	製 造 食 品	144	156
	その他・食料工業品	2	0
雑 工 業 品	紙 ・ パ ル プ	1	0
	日 用 品	1,342	2,737
特 殊 品	他に分類されない木製品	3	6
	金 属 く ず	0	65
	動植物性製造飼肥料	2	756
	廃 棄 物	2,303	527
	輸 送 用 容 器	6,968	7,057
	再 利 用 資 材	915	87
	取 り 合 わ せ 品	2,760	13,418
	分 類 不 能 の も の	28	935
合 計		26,634	130,860

(港湾調査より)

■電力の状況 (平成28年度)

内 燃 力 発 電 認 可 出 力		14,100kW
地 熱 発 電 認 可 出 力		3,300kW
日 最 大 電 力		9,291kW（平成29年1月16日）
燃 料 A 重 油	年間消費量	9,114kL
	平均	25.0kL/日
年 間 発 電 電 力 量		4,879万kWh（うち地熱 1,215万kWh）

■発電量の推移



■八丈都市計画区域

昭和47年2月22日付東京都知事に申請
昭和48年1月5日に全域を都市計画区域（区域区分非設定）に指定

■横間道路改修工事

通称横間道路（都道215号線の一部）は、為朝神社からトンネル入り口までの延長1,325mです。
この道路は八丈島の坂上地域と坂下地域を結ぶ大動脈であり、島内の経済活動及び、日常生活には欠くことのできない道路です。
昭和56年から総工費約61億円をかけ、地形に合わせて盛土、橋りょう、栈道、洞門の各形式をとりながら本格改修工事に着手しました。13年間の年月をかけ、平成6年4月21日に安全で快適な道路として全線開通しました。

■都道と町道（平成29年4月1日）

区 分	都 道	町 道
延 長	58,259m	434,808m
面 積	600,065㎡	1,510,600㎡
舗装率	100%	41.44%

■公園と児童遊園地（平成29年4月1日）

施 設 名	管理者	面 積	備 考
東 京 都 立 八 丈 植 物 公 園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
底 土 園 地	東京都	987㎡	散歩、休息、遊戯
底 土 野 営 場	東京都	13,145㎡	野営、炊事、休息
南 原 園 地	東京都	8,600㎡	散歩、休息
大 湊 浦 園 地	東京都	12,232㎡	散歩、休息、遊戯
登 龍 園 地	東京都	1,851㎡	散歩、休息
大 賀 郷 園 地	東京都	48,448㎡	散歩、休息、遊戯
護 神 山 公 園（護 神 山 緑 地）	八丈町	12,438㎡	都市計画緑地、散歩、休息
底 土 海 浜 公 園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
八 丈 プ ラ ザ 公 園	八丈町	26,016㎡	都市計画公園、散歩、休息
南原スポーツ公園	八丈町	59,797㎡	都市公園、サッカー場、野球場
神 湊 児 童 遊 園 地	八丈町	1,447.25㎡	散歩、休息、遊戯
稲 葉 児 童 遊 園 地	八丈町	2,127.65㎡	散歩、休息、遊戯
八 重 根 児 童 遊 園 地	八丈町	882㎡	散歩、休息、遊戯
大 里 児 童 遊 園 地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
檜 立 児 童 遊 園 地	八丈町	968㎡	散歩、休息、遊戯

■港湾施設（平成29年4月1日）

種 類	港 名	管理者 設立年月日	対象船舶	港湾施設						備 考
				岸壁 （－6.0～ －7.5m）	船客 待合所	輸送管 設備	夜間荷役 照明	船揚場	荷捌用地	
地方港湾	神湊港 （底土港）	東京都 昭和28.3.31	小型船 500t～5,000t	310m	一棟	一式	一式	1,320㎡	11,270㎡	神湊港（底土）船客待合所 平成26年7月1日 供用開始
	八重根港	東京都 昭和28.3.31	500t～5,000t	230m	一棟	－	－	－	1,399㎡	八重根港船客待合所 平成24年2月1日 供用開始
避難港	洞輪沢港									昭和29年7月2日指定

■都市計画道路（平成29年4月1日現在）

八丈都市計画道路3・4・1号底土・空港・八重根線			
延 長		約7,352m	
幅 員		18m	
交通広場	（底 土）	約6,600㎡	
	（八重根）	約5,200㎡	
都市計画決定		S54. 3. 29	
延 伸 決 定		H1. 3. 20	

	事業認可	認可区間	工事完成
第1期区間	S55. 1. 16	空港～倉の坂交差点 2,062m	S61年度
第2期区間	S61. 6. 19	倉の坂交差点～底土交通広場 1,690m	H11年度
第3期区間	H1. 10. 25	八重根交通広場～西見交差点 1,960m	H15年度
第4期区間	H7. 3. 1	西見交差点～空港 1,640m	H23年度

■八丈島空港の施設状況（平成29年4月1日）

種 別		地方管理空港
供 用 開 始		昭和37年5月1日
政 令 指 定		昭和33年12月25日
空 港 の 位 置	北 緯	33° 06' 54"
	東 経	139° 47' 09"
	標 高	91.7m
飛 行 場 用 地	総 面 積	763,241㎡（場内道路含む）
	国 有 地	336,087㎡
	都 有 地	427,154㎡
対 象 機 種		エアバス320－200
		ボーイング737－800

基本施設	滑走路		着陸帯	誘導路	エプロン
	延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24t （舗装厚 30cm）		延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ 3バース
	ターミナルビル				
	3階建 3975.44㎡ （延床面積）		照 明 施 設		
			進入角指示灯：8基 簡易式進入灯：7箇所 進入路指示灯：11基 風向灯：2基 エプロン灯：4基		

■町営住宅の現況（平成29年 3月31日）

地域	団地名	戸数	構造	間取り別戸数内訳		
				1K, 1DK, 1LDK	2K, 2DK, 2LDK	3K, 3DK, 3LDK
三根	郡ヶ平第2団地	16	耐火			16
	中道団地	56	簡耐・耐火	9	25	22
	富士見団地	23	耐火	5	10	8
	神湊第1団地	24	耐火	24		
	神湊第3団地	23	耐火	11	6	6
	桜平団地	29	耐火	13	8	8
	新道団地	12	耐火	2	8	2
	丘里団地	16	耐火		12	4
小計	8団地	199		64	69	66
大賀郷	原山団地	12	耐火		6	6
	八蔵団地	54	耐火	6		48
	寺山団地	38	耐火	11	7	20
	八重根団地	12	耐火	12		
小計	4団地	116		29	13	74
樫立	湯浜団地	8	簡耐			8
	康政里住宅	2	木造			2
	東六里住宅	6	木造			6
	康政里第2住宅	6	木造			6
	江能里住宅	3	木造			3
小計	5団地	25		0	0	25
中之郷	上浦団地	8	簡耐			8
	中之郷団地	15	耐火	5	2	8
	粥倉住宅	2	木造			2
	粥倉第2住宅	2	木造			2
	藍ヶ里住宅	4	木造			4
	尾越住宅	2	木造			2
	尾越第2住宅	4	木造			4
	中里住宅	2	木造			2
	三原住宅	4	木造			4
	三原第2住宅	1	木造			1
	藍ヶ江住宅	2	木造			2
	上浦住宅	2	木造			2
小計	12団地	48		5	2	41
末吉	末吉団地	8	耐火	2	2	4
	瀬戸団地	15	耐火	8	2	5
	神子尾住宅	2	木造			2
	道ヶ沢住宅	2	木造			2
	名古屋住宅	2	木造			2
小計	5団地	29		10	4	15
合計	34団地	417		108	88	221

■警察署の概要（平成29年 4月1日）

本署	1力所	32人
駐在所	6力所	6人
警察職員数計		38人

※ヶヶ島は含まない

■少年事案取り扱い件数（刑法犯のみ）

罪種	平成28年
粗暴犯	0件
窃盗	0件
その他 特別法犯	0件
計	0件

■民有家屋などの棟数

（固定資産課税台帳調べ：平成29年 1月1日）

（ ）内は1棟当たりの平均床面積 m²

区分	木造	木造以外	総数
個人	4,030棟 (81.3)	1,110棟 (105.9)	5,140棟 (86.6)
法人	193棟 (83.6)	393棟 (241.1)	586棟 (189.2)
合計	4,223棟 (81.4)	1,503棟 (141.3)	5,726棟 (97.1)

■消防団などの状況（平成29年 4月1日）

消防団	249人	（本部1分団・5分団）
消防本部	23人	（職員）

■消防団団員数（平成29年 4月1日）

区分 地区別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	1	2			1	1	12	17
三根			1	1	7	20	36	65
大賀郷			1	1	6	19	34	61
樫立			1	1	4	10	18	34
中之郷			1	1	5	12	29	48
末吉			1	1	4	8	10	24
総数	1	2	5	5	27	70	139	249

■消防施設など（平成29年 4月1日）

区分	地区別	三根	大賀郷	樫立	中之郷	末吉	総数
防火水槽	40㎡以上	67	64	21	23	19	194
	40㎡未満	4	14	1	4	2	25
消火栓		6	6	1	6	0	19
詰所		1	1	1	1	1	5
分所		1	0	0	0	0	1
器具置場		1	0	0	0	1	2

■消防車両の状況

（平成29年 4月1日）

消防ポンプ自動車	7台
司令車・指揮車	2台
照明電源車	2台
救急車	2台
可搬ポンプ	3台

■原因別救急出動件数

（平成28年度）

火災事故	1件
自然災害	0件
水難	6件
交通事故	23件
労働災害	2件
運動競技	3件
一般負傷	53件
加害	0件
自損行為	4件
急病	321件
転院搬送	43件
その他	1件
計	457件

■犯罪件数

年次	凶悪犯	粗暴犯	盗犯	知能犯	その他	総数
平成28年	0件	2件	11件	3件	13件	29件

■平成28年中の交通事故件数

総数	71件
そのうち、飲酒が原因のもの	1件

■普通会計

普通会計決算（純計）（平成28年度）

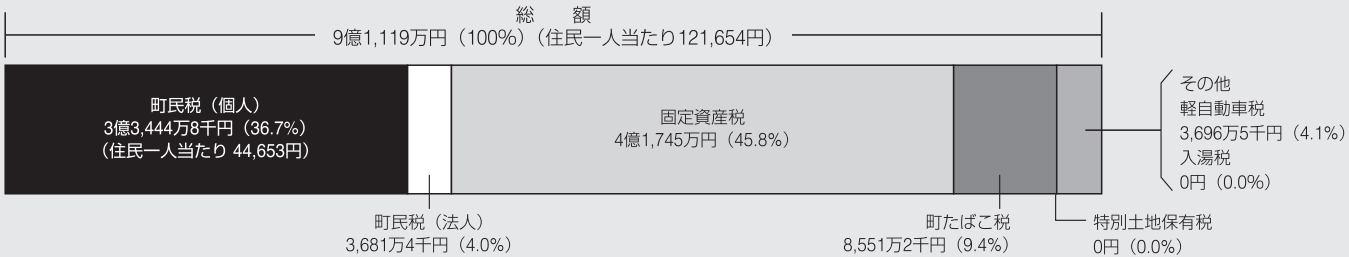
決算 収支の 状況	歳入総額 A	74億9,790万円
	歳出総額 B	73億7,521万円
	歳入歳出差引額 (A-B) C	1億2,269万円
	翌年度へ繰越すべき財源 D	3,379万9千円
	実質収支 (C-D) E	8,889万1千円
	単年度収支 F	952万6千円
	積立金 G	1億6,466万円
	繰上償還額 H	0円
	積立金取崩額 I	0円
	実質単年度収支 (F+G+H-I) J	1億7,418万6千円
指数等	基準財政需要額	31億7,617万7千円
	基準財政収入額	9億7,381万7千円
	標準財政規模	35億8,828万8千円
	財政力指数	0.308 単年度 (0.307)
	経常収支比率	88.0%

■企業会計決算

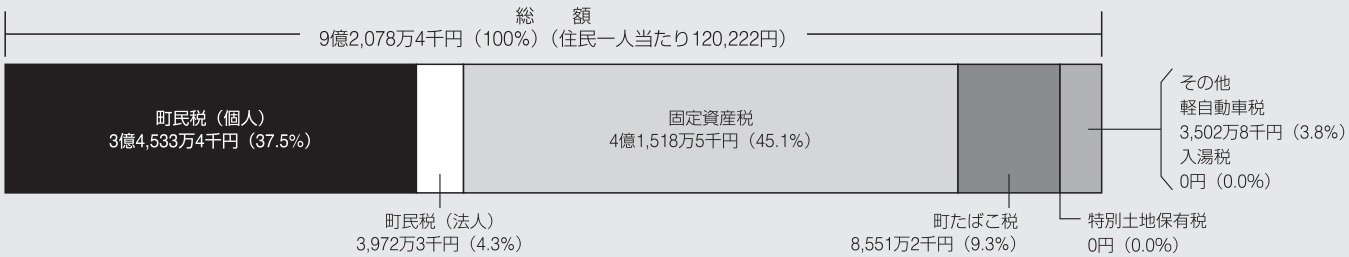
（平成28年度）

会計別	総収益	総費用	当年度純利益 (損失)
水道事業計 水会	3億8,132万8千円	3億9,714万円	-1,581万2千円
一般旅客自動車 運送事業計 運会	1億1,864万1千円	1億2,145万6千円	-281万5千円
病院事業計 病会	12億3,073万8千円	12億9,809万9千円	-6,736万1千円

■税目別町税収入見込額（平成29年度）



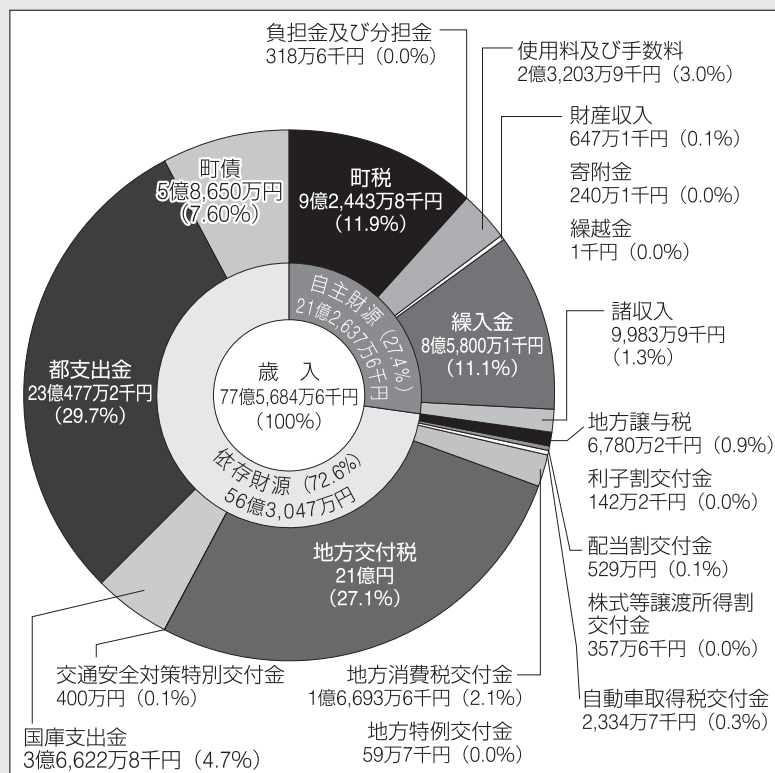
■税目別町税収入決算額（平成28年度）



■平成29年度当初予算（平成29年度）

総額 132億588万9千円（100%）		
一般会計 77億5,684万6千円 (58.7%)	特別会計 28億6,566万7千円 (21.7%)	企業会計 25億8,337万6千円 (19.6%)

■一般会計歳入予算額（当初予算）（平成29年度）



※%は、少数点2位を四捨五入

■特別会計（当初予算）（平成29年度）

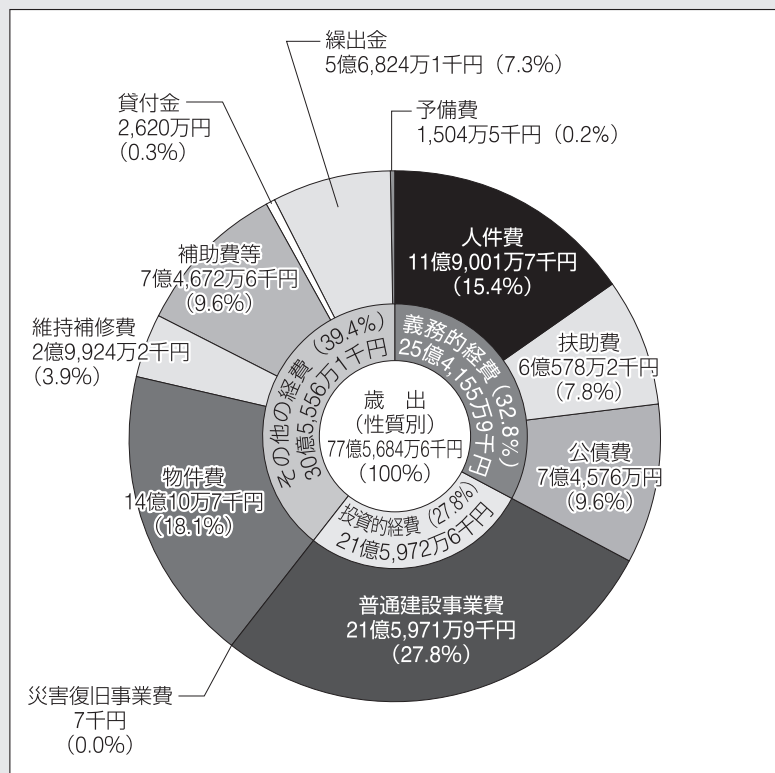
介護保険	10億4,802万2千円
国民健康保険	15億2,871万6千円
後期高齢者医療	1億9,238万8千円
浄化槽設置管理事業	9,654万1千円

（一部公営企業会計適用）

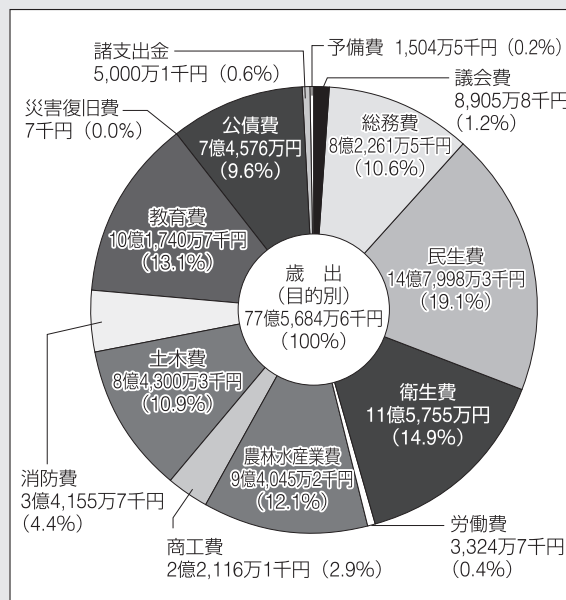
■企業会計予算額（当初予算）（平成29年度）

水道事業	8億5,990万1千円
一般旅客自動車運送事業	1億7,395万6千円
病院事業	15億4,951万9千円

■一般会計歳出予算額（当初予算）（平成29年度）



※%は、少数点2位を四捨五入



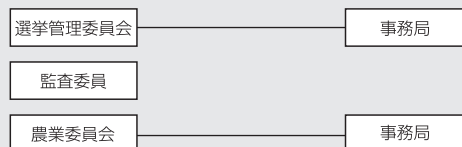
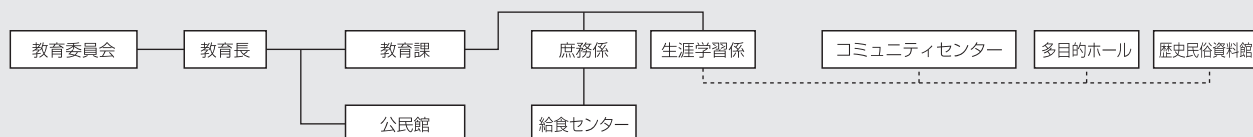
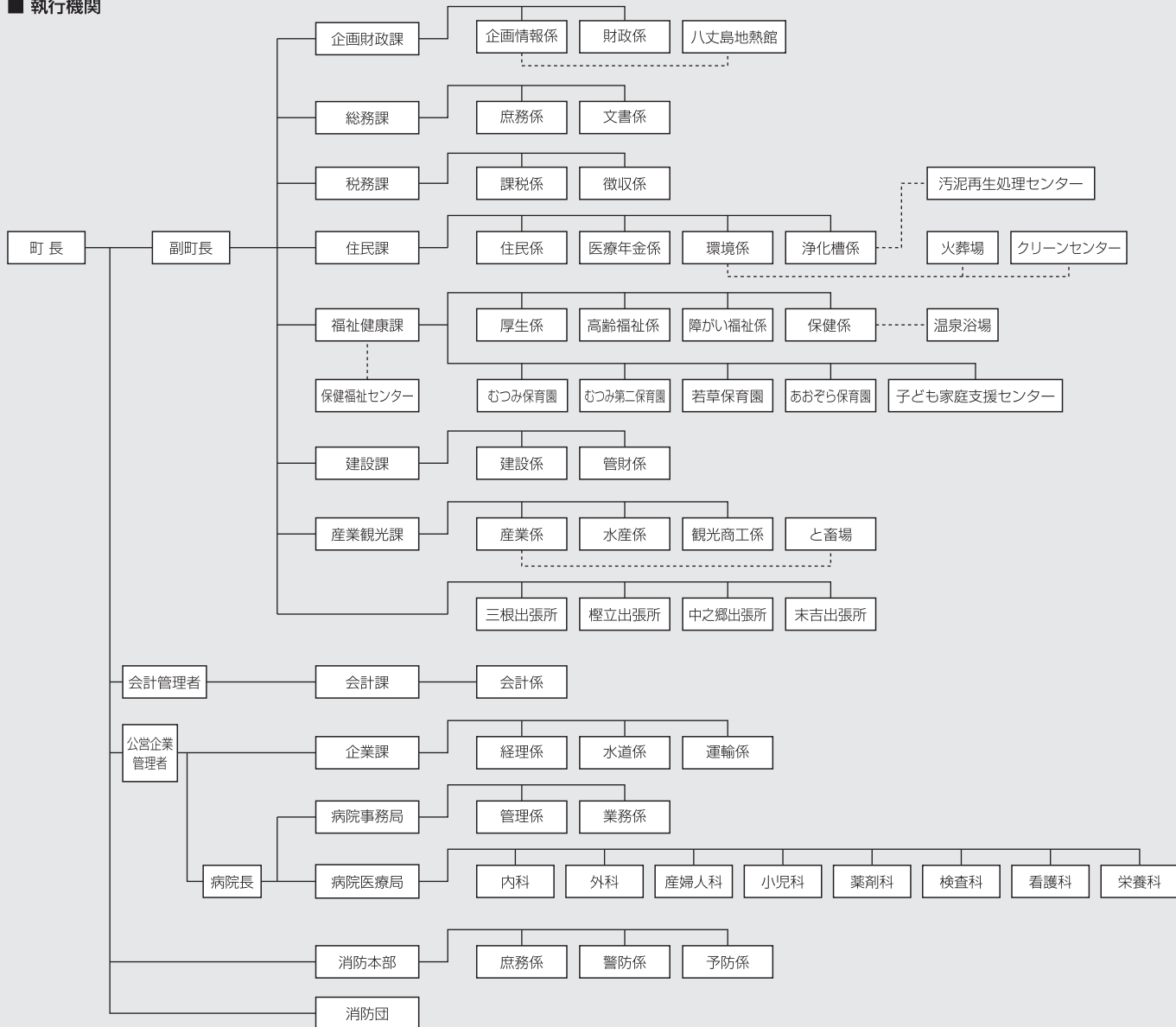
※%は、少数点2位を四捨五入

■八丈町機構図（平成29年度） 平成29年4月1日現在

■ 議決機関

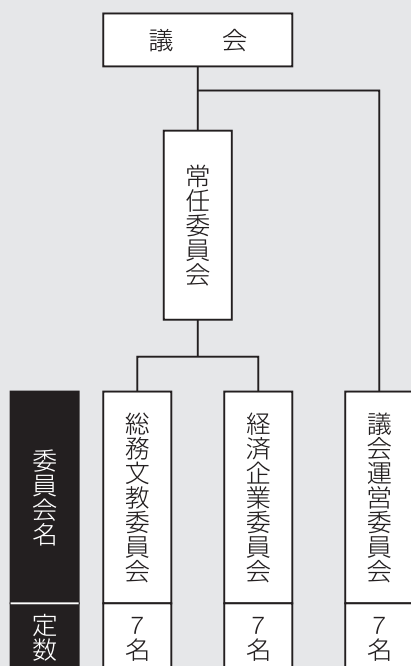


■ 執行機関



(專門機關)

■議会構成 (平成29年11月 1 日)



■党派別議員数 (平成29年11月 1 日)

党 派	人 数
自 由 民 主 党	2名
公 明 党	2名
共 産 党	1名
無 所 属	7名
計	12名

■町議会会議開催状況 (平成28年)

会 議 名		回 数
本会議	定例会	4回
	臨時会	1回
総 務 文 教 委 員 会		1回
経 済 企 業 委 員 会		1回
議 会 運 営 委 員 会		6回
全 員 協 議 会		5回
航空運賃特別委員会		1回
総務文教委員協議会		4回
経済企業委員協議会		1回
航空運賃特別委員協議会		1回

■町長提出付議事件件数 (平成28年)

		原案 可決	修正 可決	否決	継続 審査	審議 未了	撤回
地方自治法 第96条1項 議決事件	条例 (1号)	29	0	0	0	0	0
	予算 (2号)	40	0	0	0	0	0
	決算 (3号)	9	0	0	0	0	0
	4号から14号 までの議案	7	0	0	0	0	0
地方自治法第96条1項15号及び 96条2項を含むその他全ての議案		13	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第179条)		12	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第180条第2項)		4	0	0	0	0	0

歴史のあけぼの

八丈島の古代については、考古学会でも無人島であったとされていましたが、昭和37年夏、樫立で三原中学校の生徒が磨製石斧を発見したことがきっかけとなって湯浜遺跡の調査が始められました。昭和52年には、倉輪遺跡が発見され、人骨や装飾品なども出土しました。これらの遺跡調査から次のことが明らかになりました。①八丈島には6,500年ほど前には人が住んでいたが、ずっと住み続けていたわけではない。②遺跡の規模、神津島産の黒曜石の矢じり、本土から持ち込まれた縄文式土器、丸木舟を作ったと思われる石器などが出土していることから、人々は島伝いに移って来てまた移り去ったか、あるいは死に絶えた。③水が近くにあり、木の実や山芋、魚・貝・鳥などを入手し易い場所に住居を構えていた。また、倉輪遺跡時代に犬や猪の骨が多く出土していることから、以前に持ち込んだ猪が増え、狩りをしていたのではないとも考えられる。

鎌倉から江戸時代まで

八丈島が本土の支配下に置かれたのは、東鑑によれば鎌倉時代の1186年（文治2年）で相模の国に属したとされています。また、統治機関が置かれたのは、室町時代の1338年（延元3年）、足利氏の執事上杉憲顕が奥山伊賀と菊池治五郎を代官として在島させたのが最初とみられます。1440年（永享12年）に神奈川の領主奥山宗林が支配したが、15世紀の末期、三浦・北条氏の勢力が入って以来、三氏の抗争が続き1515年（永正12年）になって北条氏が勝利を得、全島を支配するに至りました。この権力争いの原因は八丈島特産の貢租「黄八丈」にあったと見られています。その後、1604年（慶長9年）から明治に至るまで徳川幕府の支配下が続きましたがこの間、しばしば天災地変・飢饉・悪疫に襲われており、島民の生活は厳しく、苦しいものでした。また、この265年間に約1,900人の罪人が流されてきました。

明治以降の八丈島

明治3年に葦山県、同4年に足柄県、同9年静岡県の所管となり、同11年1月11日に東京府に属して以来東京都の今日に及んでいます。明治41年に八丈本島の5ヶ所に島嶼町村制が施行されたが、小島の2ヶ村には施行されず、昭和22年10月の地方自治法施行まで名主制度が続きました。

THE DAWN OF HISTORY

Although archaeological societies considered Hachijo to be an uninhabited island in ancient times, in the summer of 1962, starting with the discovery of a polished stone ax by a student of Mihara Junior High School, a survey of the Yubama ruins began. In 1977, the Kurawa ruins were discovered, and human bones and ornaments were dug up. The following were made clear from these ruins surveys.

① Although people were living in Hachijojima about 6,500 years ago, they did not remain on the island continuously. ② People either came and left by way of the other islands, or they simply passed away. Support for the aforementioned come from the scale of the ruins, obsidian arrowheads that are Kozushima-made, Jomon earthenware from the mainland, and stone implements thought to be used to make canoes. ③ Houses were built in good locations due to the water being nearby and the ease of obtaining things such as fruits, potatoes, fish, shellfish, and birds. Also, it is thought that wild boar, which flourished when brought to the island, was hunted because of the numerous boar and dog bones found at the Kurawa ruins.

FROM THE KAMAKURA PERIOD TO THE EDO ERA

According to the Azumakagami=Hachijojima came under the control of the mainland in 1186, during the Kamakura period (1185-1333), and was classified as a part of Sagami-no-kuni [the present Kanagawa Prefecture]. The first permanent placement of government officials on the island is thought to have occurred in 1338, during the Muromachi period (1336-1573), when Ashikaga vassal Uesugi Noriaki dispatched envoys Okuyama Iga and Kikuchi Jigoro. In 1440, Okuyama Sorin — a major landholder in Kanagawa — controlled Hachijo, but in the latter part of the 15th century the island was enveloped in a three-way struggle for control. Competing with Okuyama were Miura Dosun of Sagami, and Hojo Soun of Odawara. The struggle continued until 1515, when Hojo emerged victorious and brought the entire island under his control. The origin of this rivalry is thought to have been kihachijo=a silk product unique to Hachijojima and used for payment of taxes. Later, from 1604 to the beginning of the Meiji period (1868-1912), the island was under the jurisdiction of the Tokugawa shogunate. It was during this period that nearly 2000 people were exiled to Hachijojima for various crimes, leading to the island's reputation as an "exile island." It was also during this time that islanders were subjected to a number of natural disasters, famines, and plagues; life on Hachijo was bitter and harsh.

HACHIJOJIMA FROM MEIJI ON

In 1869 Hachijo was placed under the jurisdiction of Sagami Prefecture, bringing into being the villages of Mitsune, Okago, Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi on Hachijojima, and those of Utsuki and Toriuchi on Hachijo-Kojima [the islet just off the coast of Hachijojima]. Over the next ten years various prefectures held sway over Hachijojima: Nirayama (1870); Ashigara (1871); Shizuoka (1876); and Tokyo (Jan. 11, 1878), under the jurisdiction of which it has since remained.

The 1908 Islands, Towns, and Villages Ordinance was implemented in the five villages of Hachijojima, but not on Hachijo-Kojima, where the village-head system of government continued until promulgation of the Local Government Act in October 1947.

八丈町の成立

昭和29年10月1日、町村合併促進法により三根、檜立、中之郷、末吉、鳥打の各村が合併して「八丈村」に、翌30年4月1日、八丈、大賀郷、宇津木の各村が合併して「八丈町」が誕生し、今日に及んでいます。

八丈小島の引き揚げ

昭和29、30年の合併により八丈町が誕生しました。このころ小島は、生活条件は向上したものの、その後は過疎化が激しく生活水準の格差も増し、高齢化が進み、開発計画も行き詰まり、住民もついに100名を割ってしまいました。このようななかで全員離島の話が持ちあがり、昭和41年3月全員離島を訴え、八丈町議会に請願書を提出しました。

請願を受けた町議会は、昭和41年6月20日、小島の実情調査を行い、同月22日にこれを採択しました。

請願内容を要約すると、

1. 電話・水道・医療の施設がない
2. 生活水準格差の増大
3. 人口過疎の傾向が甚大である
4. 子弟の教育のあい路

これにより、昭和44年1月より都の援助で全員が引き揚げ無人島となりました。

離島までの経緯

昭和41年	3月	小島住民全員離島決意、八丈町議会に対し、「移住促進、助成に関する請願書」提出
	6月	八丈町議会「請願」採択
	7月	八丈町議会、小島引き揚げ対策協議会設置
昭和42年	9月	八丈町対都「八丈小島住民の全員離島の実施に伴う八丈町に対する援助」陳情
昭和43年	10月	土地買収価格（在住者坪当たり93円、不在者60円）などについて、住民との協議成立
昭和44年	1月	離島開始
	6月	鳥打小・中学校、宇津木小・中学校廃校全員離島する。 24世帯 人口91人

THE BIRTH OF THE MUNICIPALITY OF HACHIO

On Oct. 1, 1954, under the provisions of the Towns and Villages Amalgamation Act, the villages of Mitsune, Kashitate, Nakanogo, Sueyoshi, and Toriuchi were combined into the Village of Hachijo, which on April 1, 1955 was combined with the villages of Okago and Utsuki to create the present Town of Hachijo.

RELOCATION FROM HACHIO-KOJIMA

Although living conditions on Hachijo-Kojima had improved around the time of the 1954-55 incorporations, the island later suffered from severe depopulation, a decline in the standard of living, an aging population, and deadlocked development plans. Eventually there were fewer than 100 people living on the island, and talk of relocating residents increased. In March 1966 all residents petitioned the Hachijo Town Council for relocation, and on June 20 the council conducted a survey of Hachijo-Kojima; on June 22 the residents' petition was accepted. The petition cited the following factors in requesting relocation:

1. Lack of telephone, water, and medical facilities.
2. An increased disparity in living standards.
3. An increased tendency toward depopulation.
4. The education bottleneck.

Based on the above, in January 1969 all residents were evacuated with assistance from the Tokyo metropolitan government, leaving Hachijo-Kojima deserted.

Steps to relocation

1966	March	Residents opt for relocation, and submit "A Petition Regarding Aid for and Expedition of Relocation" to Hachijo Town Council.
	June	Hachijo Town Council adopts the petition.
	July	Hachijo Town Council establishes the "Kojima Relocation Policy Committee."
1967	September	Hachijo petitions the Tokyo Metropolitan Government regarding "Aid to the Town of Hachijo Coinciding with Implementation of the Relocation of All Residents of Hachijo-Kojima."
1968	October	Creation of residents' conference on land prices, etc. (Land was purchased from residents for ¥28.1/m ² , and from non-residents for ¥18.1/m ² .)
1969	January	Relocation process begins.
	June	Toriuchi and Utsuki elementary and junior high schools closed. All residents leave the island (24 households/91 people).



東京都八丈町勢要覧

「はちじょう2017」資料編

平成30年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係
東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
電話 04996-2-1120
URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷：明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233（代）

表紙写真提供 八丈町・東京海洋大学鯨類学研究所